



レスポンスマニュアル

respon system 7.2c 201901

Quick Access

リアルタイムアンケートを授業で実施したい。

→ **1-1** (P7) へ GO !

Quick Access

とりあえず、出席確認の機能を使いたい。

→ **2-1** (P18) へ GO !

system 7.2 の 新機能 は、次のページにて !

NEW アンケートで、複数選択問題が実施できるようになりました

respon のアンケートで、複数選択問題が実施できるようになりました。複数選択問題の選択肢の数は16個まで使用できます。LIVE画面やプレイヤーでリアルタイムに集計結果が表示されることはもちろんのこと、とてもユニークな機能を実装しています。それは、「**回答者が選択した順番を保存する**」という機能です。この機能により、以下のようなアンケートが実施可能となります。

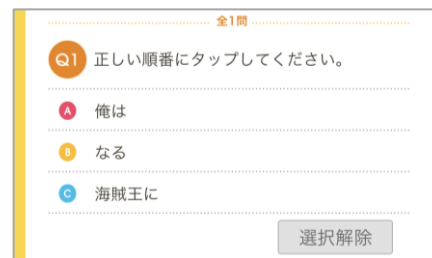
Q. どのテーマに関心があった？上位3つを順にタップ！

例えば、全15回の講義のトピックを選択肢にして、面白かった・関心があったものを3つ、順番にタップ。1位にあるテーマを選んだ人は、2位に何を選んだか等の分析ができます。



Q. 並び替え問題。正しい順番にタップ！

英語の授業など、単語やワードを選択肢にし、「正しい順番での並び替え」問題を実施することができます。



「該当するものを選び」「3つ選べ」「3つ、好きな順に選べ」など、質問の仕方を使い分けをしてください。回答の出力は順番情報を入れる・入れないの2種を選ぶことができます（→ [3-1 \(p21\)](#) 参照）。学生のアプリの提出記録や、アンケートLIVE画面の個人回答ビュー（→ [1-6-1 \(p12\)](#) 参照）では、タップした順番を保持して表示をします。

NEW アプリを使った相互閲覧や、フィードバック …etc. respon の多彩な機能をマニュアルにて紹介

respon アプリを前提とすることで実現できる、より高度な使い方について、マニュアルに追加しました。レポートや相互評価、フィードバックなど様々な使い方をご紹介します。（→ [5-1 \(p27\)](#) ～ [5-4 \(p29\)](#) 参照）

0. 用語と、ご利用の流れ

0-1.用語	P5
0-2.基本的なご利用の流れ	P6

1. アンケート / クリッカーを実施する

1-1. カードの発行（共通）	P7
1-2. アンケートの準備をする	P8
1-3. クリッカーの準備をする	P9
1-4. 発行したカードの情報（アンケート / クリッカー共通）	P9
1-5. respon を教室で実施する	P10
1-6. LIVE画面 / REPLAY画面の使い方	P12
1-7. 実例集	P16

2. 出席確認の実施

2-1. 「出席のみ」のカードの発行	P18
2-2. respon を教室で実施する	P19
2-3. 受付終了後に、出席表を編集する	P20

3. データのダウンロード（すべてのカード）

3-1. ダウンロードと、情報の見方（全カード共通）	P21
3-2. クリッカー・アンケートのシートに記載される情報	P23
3-3. 総合出席表の出力	P24

4. よくある質問とその対応方法

4-1. 「仮提出」とは	P25
4-2. 「NG」とは	P25
4-3. 教室の外からの投稿の抑制	P25
4-4. 集合判定について	P26

5. アプリを前提とした高度な活用

5-1. レポート課題を respon で実施する	P27
5-2. ハイパーリンクを活用する	P27
5-3. LIVEプレイヤー での相互評価	P28
5-4. REPLAYプレイヤー でのフィードバック	P29

respon (レスポ) をご利用いただき、ありがとうございます。
respon は、アンケートをリアルタイムに共有できるシステムです。また、出席管理の機能も提供します。

<p>リアルタイムアンケート</p>	<p>学生は PC / スマートフォンのブラウザ、 あるいは専用アプリ "respon" [*1] を用いて教員があらかじめ作成した「カード」を提出します。 カードは3種類（出席、クリッカー、アンケート）から選択できます。 これらの集計結果は、respon の教員画面や専用アプリで、リアルタイムに確認ができます。 [*1] …iOS 9.0以降 / Android 5.0以降 に対応しています。</p>
<p>出席管理機能</p>	<p>発行したカードに連動して、出席表が生成されます。出欠席の状態やその理由を記入できます。 また、カードの提出時間に応じて、「〇時〇分までに提出した人は出席」と一括して登録することができます。</p>
<p>専用のアプリで 「教室にライブを！」</p>	<p>専用アプリをご利用いただくことで、より多くの機能をご提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信状態が悪い環境や状況での利用 ・位置情報サービスを用いた、厳密な出席確認 ・アンケートの集計結果を 学生にライブ中継・リプレイ配信... etc.

respon が 教員と学生のコミュニケーションを高め、教室が新しい学びの場へと発展することを願っています。

第12回日本e-Learning大賞
アクティブラーニング部門賞



Inno
異能vation
総務省 平成29年度
「異能vation」プログラム
アプリ部門ノミネート



respon の最新情報は、こちらをご覧ください

<https://respon.jp>

0-1. 用語 responシステム に登場する用語をご紹介します。

<p>カード</p>	<p>主に授業時間内での利用を目的とした質問フォームです。学生はアプリか携帯電話・PCのブラウザで、教員が作成した「カード」に回答を記入して提出します。カードは3種類あります。</p> <table border="1" data-bbox="540 257 1796 471"> <tr> <td>出席のみ</td> <td>学生の名前の確認だけを行います。</td> </tr> <tr> <td>クリッカー</td> <td>口頭やスライドで質問するための、簡易なフォーム（数字選択10択+自由記入欄ひとつ）</td> </tr> <tr> <td>アンケート</td> <td>教員が問題文・選択肢をあらかじめ作成しておくアンケート（最大10問）</td> </tr> </table>	出席のみ	学生の名前の確認だけを行います。	クリッカー	口頭やスライドで質問するための、簡易なフォーム（数字選択10択+自由記入欄ひとつ）	アンケート	教員が問題文・選択肢をあらかじめ作成しておくアンケート（最大10問）
出席のみ	学生の名前の確認だけを行います。						
クリッカー	口頭やスライドで質問するための、簡易なフォーム（数字選択10択+自由記入欄ひとつ）						
アンケート	教員が問題文・選択肢をあらかじめ作成しておくアンケート（最大10問）						
<p>受付番号</p>	<p>カードに付与される9桁の数字です。教員は、教室で 受付番号を学生に口頭・板書などで伝え、学生はこれを入力することでカードにアクセスします。</p>						
<p>出席表</p>	<p>カードに紐づいて生成される名簿です。画面から出席情報を記入し、Excel で出力できます。コース内の出席表をまとめた「総合出席表」をダウンロードすることもできます。</p>						
<p>LIVE / REPLAY画面</p>	<p>教員が、PC 提出状況を確認する画面です。manaba にログインして見ます。受付中のときは LIVE画面、受付終了後は REPLAY画面 と呼びます。</p>						
<p>再利用</p>	<p>発行済の「アンケート」のフォームの複製を作ります。担当コースが複数ある場合、他のコースに複製を作成できます。複製先として選択できるのは「現在のコース」もしくは「これからのコース」になります。なお、元のカードの「実施予定日時」が未来の場合、複製先にも同じ日時が入ります。</p>						
<p>LIVE / REPLAY プレイヤー</p>	<p>プレイヤーは、アプリの中で集計結果や回答を閲覧する画面です。アプリで回答した後に見ることができます。カードごとに教員がプレイヤーを公開するかしないかを選択できます。受付中は LIVE、受付終了後は REPLAY という表示が出ます。</p>						



プレイヤー

0-2. 基本的なご利用の流れ

授業前

教員は、授業前にあらかじめ respon管理画面 でカードを発行し、受付番号を控えておきます。

あなたならどの
立場を選びますか？

552 530 328

© 2016 電柱棒・respon, Inc.

授業中

授業中、任意のタイミングで、教員は9桁の受付番号を口頭・板書・スライド等で伝えます。
学生はアプリか 携帯電話・PC のブラウザで受付番号を入力し、回答を提出します。



授業後

教員は、カードの受付を終了します。
提出状態に応じて出席管理を行う場合は、画面からそのカードの出席表を開き、出席情報を記入します。

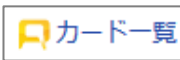
事例動画

授業前の respon の準備から、授業での利用の一連の様子を撮影した動画を responチャンネル で公開しています。ご覧ください。

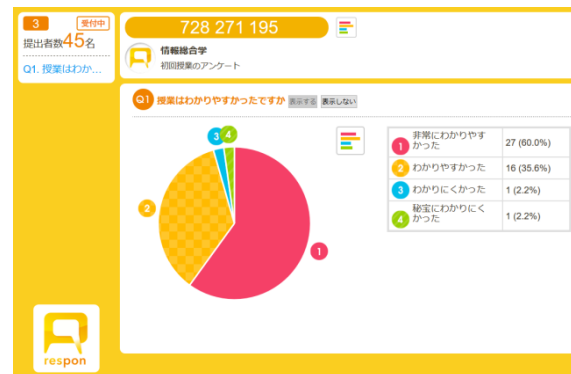
関西福祉科学大学：respon の準備から授業までをウェアラブルカメラで撮影
<https://youtu.be/BYFPgqkRktw>



1 respon で アンケート / クリッカーを発行してみましょう。
担当コースのページを開き、[カード一覧]をクリックしてください。



2 カード一覧画面
そのコースで発行しているカードの一覧画面が表示されます。
タブで「受付中」と、「受付終了」を切り替えることができます。



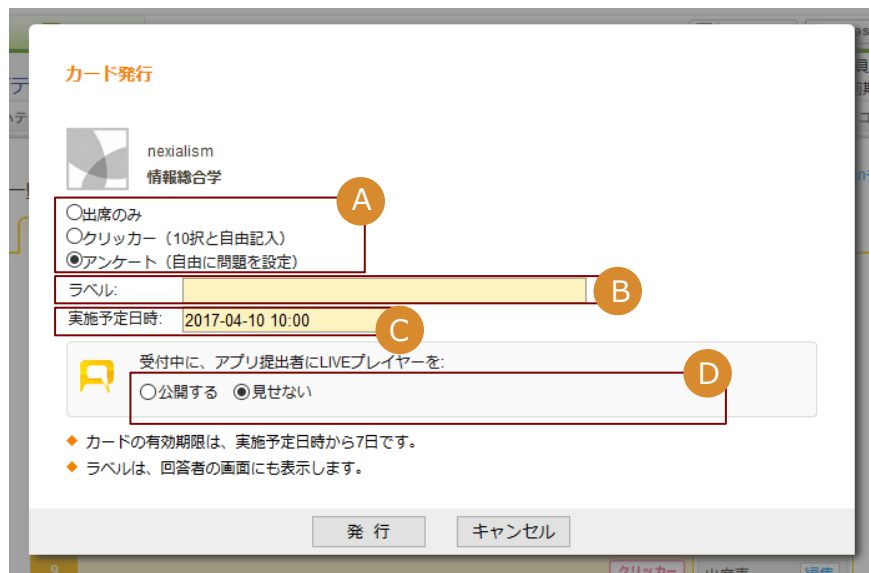
3 カードの発行
右上の [カード発行] をクリックすると、パネルが表示されます。A ~ D の選択と記入をして、[発行] をクリックしてください。

A カードタイプ 3つのタイプから選んでください。

B ラベル
このカードを、後から識別しやすくするために付ける名前です。(例: 第3回実習 感想と気づき)
※ラベルは、アプリなど、学生が見る画面にも表示します。

C 実施予定日時
カードを使う予定の日時を入力します。
入力した日時に利用しなくても、問題ありません。

D アプリのLIVEプレイヤー公開選択
クリッカーとアンケートのオプションです。
「公開」を選択すると、アプリで提出した学生が、受付終了までの間、アプリの中でプレイヤーを見ることができるようになります。
プレイヤーについては (→ 5-3 (P28) 参照)



1-2. アンケートの準備をする

1-1の(A)で、「アンケート」を選択して「発行」を押すと、アンケート作成画面が表示されます。

1 アンケート作成画面で質問 **ア** を入力してください。

2 回答形式 **イ** を以下の3つから選択してください。

[単一選択]

選択肢の数は最大12
※選択必須

[自由記入]

2000文字まで提出可
※未入力でも提出可

[複数選択] NEW

選択肢の数は最大16
※未選択でも提出可

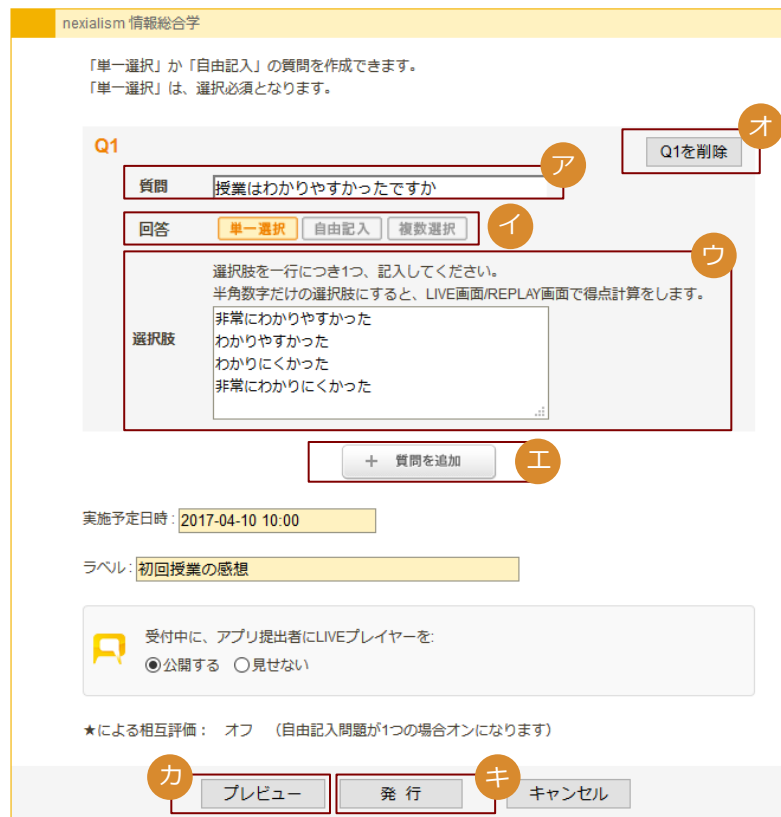
3 **[単一選択]**、**[複数選択]**では、選択肢 **ウ** を入力します。
一行につき、一つの選択肢を記入してください。

4 質問を追加する場合、**[+質問を追加]** **エ** をクリックします。
質問は**10問まで**追加できます。質問を削除したいときは、**[削除]** **オ** をクリックします。

5 **[プレビュー]** **カ** をクリックすると、どのように見えるか確認できます。

6 **[発行]** **キ** をクリックすると、発行完了です。カードに紐付いた受付番号が発行されます。

アンケート作成



nexialism 情報総合学

「単一選択」か「自由記入」の質問を作成できます。
「単一選択」は、選択必須となります。

Q1

質問 授業はわかりやすかったですか

回答 単一選択 自由記入 複数選択

選択肢

選択肢を一行につき1つ、記入してください。
半角数字だけの選択肢にすると、LIVE画面/REPLAY画面で得点計算をします。

非常にわかりやすかった
わかりやすかった
わかりにくかった
非常にわかりにくかった

+ 質問を追加

実施予定日時: 2017-04-10 10:00

ラベル: 初回授業の感想

受付中に、アプリ提出者にLIVEプレイヤーを:
 公開する 見せない

★による相互評価: オフ (自由記入問題が1つの場合オンになります)

プレビュー 発行 キャンセル

クリッカーは、写真のような画面の回答フォームです。
 0~9までの数字の選択と、コメント記入欄があるだけのシンプルなフォームです。
 問題文の記載がありません。クリッカーのフォームは、数字選択だけを使っても、コメント記入欄だけを使っても、両方使っても構いません。質問は口頭や スライドで指示をしてください。

例) 「賛成の人は1、反対の人は2、どちらでもない人は3を選んで、理由を書いてください」

1-1 の **A** で、「クリッカー」を選択して「発行」を押すと、新しくカードが発行され、その受付番号が表示されます。



1-4. 発行したカードの情報（アンケート / クリッカー共通）

発行したカードは、カード一覧画面に以下のように表示されます。「提出」をクリックすると回答フォームの確認から提出までの画面を確認できます。
 （教員IDの場合はお試し提出となります）



左: プレイヤー公開中のマーク
 右: 相互閲覧オンのマーク

カードの種類

受付番号

実施予定日時

受付番号を拡大表示します

受付中でもデータ出力できます

1-5-1. 受付番号の案内と、提出方法

授業では、口頭や板書・スライド等で、カードの受付番号を学生に伝えてください。学生は、アプリかブラウザを利用して提出します。

ブラウザを利用した提出

携帯電話、PC のブラウザを利用して提出をします。受付番号入力後、ID・パスワードを入力すると、カードが表示されます。ブラウザからの提出は、manaba にアクセスして右上の [respon] をクリックします。

アプリを利用した提出 (推奨)

iOS / Android 用の responアプリ で提出します。最初に設定を済ませておけば、以降は受付番号を入力するだけでカードが表示されます。アプリには、ご利用中の manaba の URL と ID、パスワードを登録します。アプリの利用を前提にすると、使い方の幅も広がります。 (→ 5-1 (P27) ~ 参照)

HINT



クリッカーとアンケートの使い分けは？

クリッカーはアンケートに比べると、事前の準備が簡単です。クリッカーをあらかじめ複数枚発行しておけば、授業の流れに応じて様々な質問をすることが可能です。また、クリッカーの受付番号を配布資料に記載していたとしても、教員が質問を指示しない限り学生が回答できません。これを利用して、授業からの抜けだしを抑制できるという先生もいらっしゃいます。

ただし、クリッカーは 何の質問をしたか控えておかななくては、後から回答データを見ても 何の質問に対する回答が分かりません。これは学生の立場でも同じです。アプリから回答した際、アプリの中にログが残りますが、クリッカーの場合はやはり後から見直した時に何の質問への回答だったかわかりません。**これを解決するために、「テキストの挿入」機能があります。** (→ 5-4-1 (P28) 参照)

このクリッカーの特徴を踏まえた上で、アンケートとクリッカーを使い分けてください。

HINT



アプリの準備は、教室の外で

新年度など、respon をはじめて使う際の、アプリのインストールと設定作業は授業開始前にすませておくよう 案内をしてください。授業中に行くと、時間が取られてしまいます。

アプリの設定マニュアルと、アンケートの受付番号を渡し、「次回授業までにアプリの設定をして、このアンケートに回答しておくこと」と、宿題形式にしておけば、授業開始前に学生たちの準備状況も把握できます。

1-5-2. 提出状況のLIVE表示

教員は、提出状況をライブで確認できます。カード一覧画面で、そのカードの **[LIVE画面]** **A** をクリックします。



728 271 195 > 提出

初回授業の感想 [編集]

実施予定: 2017-04-10 10:00 有効期限: 2017-04-17 10:00

アンケート 出席表 未編

LIVE画面 A

受付終了 B

再利用

728 271 195

受付中

提出者数 45名

情報総合学

初回授業のアンケート

Q1. 授業はわか...

Q1 授業はわかりやすかったですか 表示する 表示しない

1	非常にわかりやすかった	27 (60.0%)
2	わかりやすかった	16 (35.6%)
3	わかりにくかった	1 (2.2%)
4	非常にわかりにくかった	1 (2.2%)

© 2016 電柱棒・respon, Inc.

LIVE画面 をプロジェクターに映すことで、
回答の共有ができます。

アプリでも、提出状況を確認できます。

HINT



アンケートの作り方によって、LIVE画面 ができることが変わってきます。相互評価機能（星をつける機能）は、アプリのプレイヤーを公開する等の設定が必要です。詳しくは、次ページの LIVE画面 / REPLAY画面 の説明をご覧ください。

1-5-3. カードの受付終了

授業中、あるいは授業後に、カードの受付を終了します。PCで受付終了をする場合は、そのカードの **[受付終了]** **B** をクリックします。受付終了をすると、そのカードは「受付終了」のカード一覧画面に移動します。

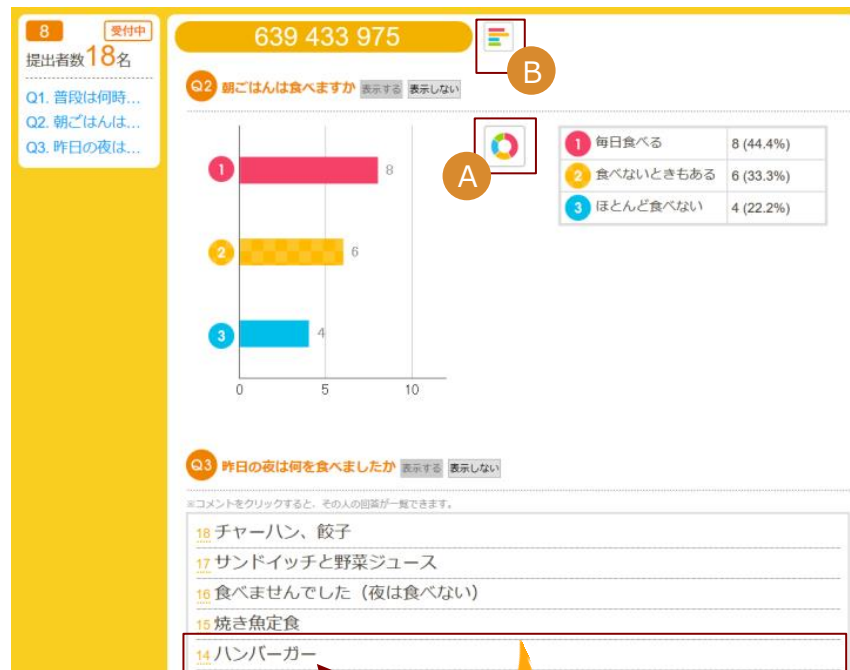


受付終了をしなくても、カード発行後、実施予定日時から7日 経過すると自動的に受付終了となります。ご注意ください。
また、受付終了時に、提出者が0人で かつ出席表が未編集だった場合は、自動的に削除されます。

1-6-1. アンケートの LIVE画面 / REPLAY画面

<円グラフ / 棒グラフ切り替え>

単一選択問題の結果は、グラフで表示します。円グラフか棒グラフかをボタン **A** で切替えることができます。デフォルトは円グラフです。画面一番上の受付番号の右にある切替ボタン **B** をクリックするとすべてのグラフを一斉に切替えることができます。

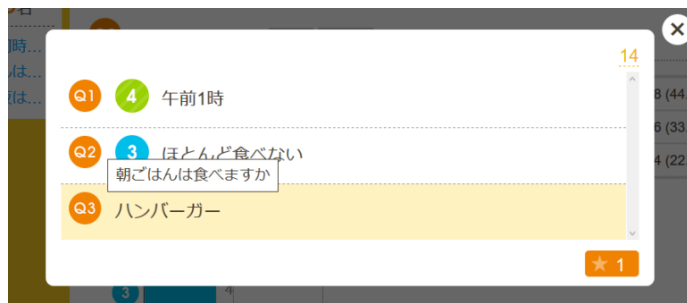


<自由記述の回答と、個人回答ビュー>

自由記入問題の回答は一覧となって表示されますが、任意の回答をクリックすると、別ウインドウが開きます。そして、その回答者のすべての回答が一覧できます。この画面を「個人回答ビュー」と呼びます。「個人回答ビュー」では、「Q1」などの設問番号にカーソルを重ねると、設問も表示します。



設問番号にカーソルを重ねると
問題文を表示。



自由記入の回答をクリックすると、
その回答をした人が、各設問で何を
回答したか一覧で出てきます。

1-6-1. アンケートの LIVE画面 / REPLAY画面

<相互評価の星の表示機能>

responでは、自由記入問題が1問だけの場合に限り（単一選択問題、複数選択問題はいくつあっても可）

相互評価機能（星を付ける機能）がオンとなります。このとき、LIVE画面 / REPLAY画面 の自由記入問題の回答、あるいは個人回答ビューで星の数が表示されます。星はアプリから回答した人が、アプリのプレイヤーから付けることができます。

※カード発行時に、“アプリ提出者に LIVEプレイヤー を公開する” を選択する必要があります。（→ [1-1 D \(P7\)](#) 参照）

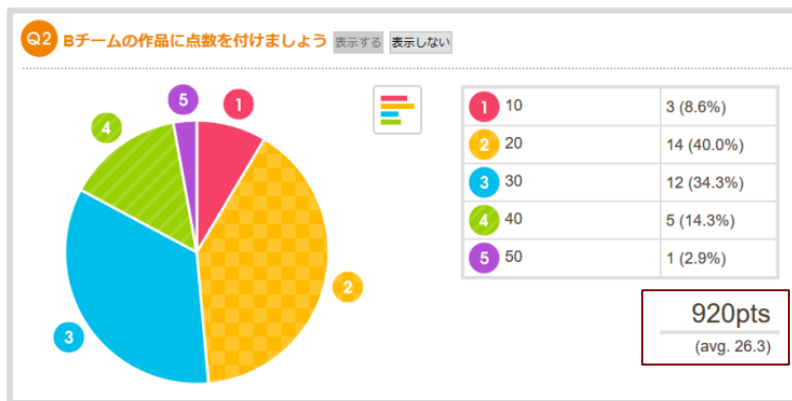
<スコア表示機能>

単一選択問題の選択肢を「半角数字のみ」とした場合

凡例の下にスコア表示が出ます。

スコアは、(選択肢の数字×人数)の合計と平均点を表示しています。

なお、スコアは、アプリのプレイヤーでは表示しません。

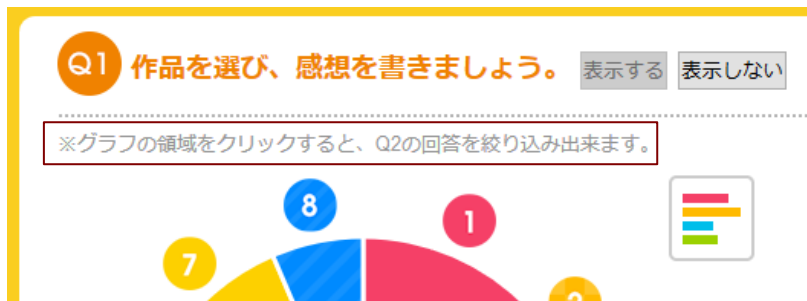


<絞り込み機能>

Q1が単一選択問題、Q2が自由記入問題の全2問のアンケートの場合に限り

グラフの各領域をクリックすると、選択肢ごとに自由記入の回答を絞り込んで表示できます。

この条件を満たしている時は、画面にも説明が表示されます。



1-6-2. クリッカーの LIVE画面 / REPLAY画面

<N/Aのカウントについて>

クリッカーは、数字選択だけを回答することも、自由記入だけを回答することも、両方使って回答することもできます。

LIVE画面 / REPLAY画面では、クリッカーで数字を選択しなかった人を[N/A]とカウントし、[N/A]はグラフの中には含めません。

<円グラフ / 棒グラフ>

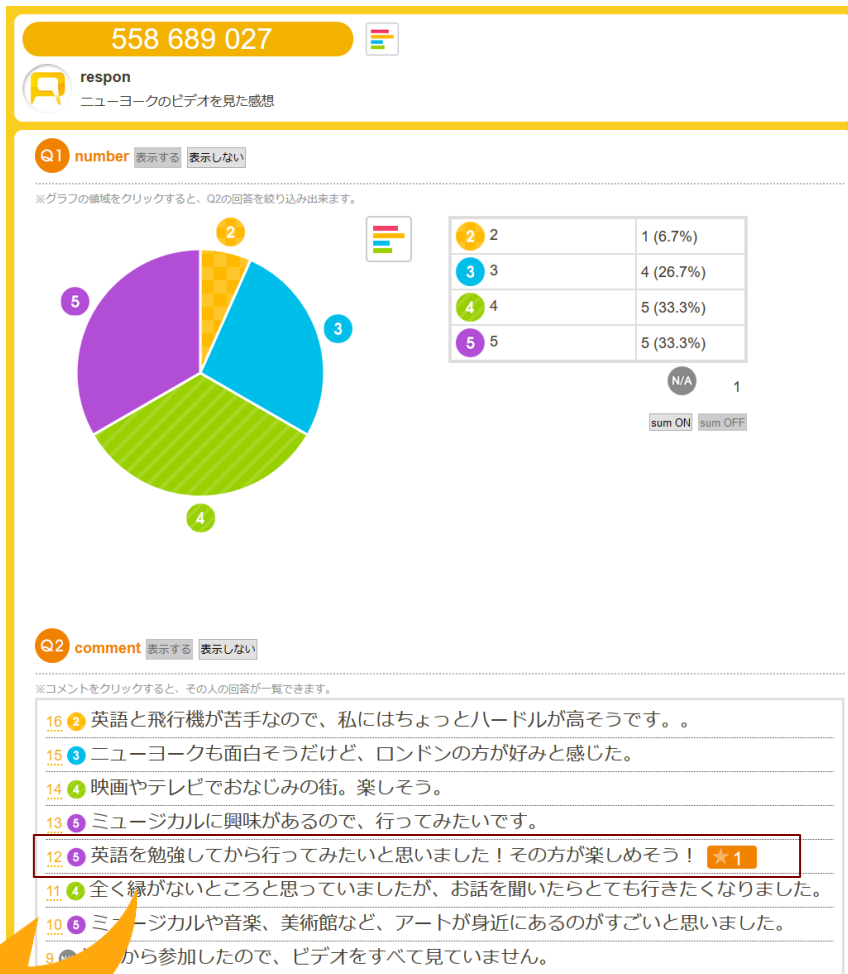
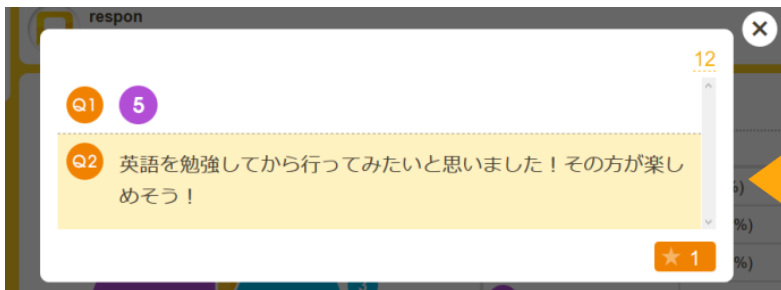
数字選択の結果は、グラフで表示します。

円グラフか棒グラフかをボタンで切替えることができます。

なお、投票が0件の数字はグラフには表示されません。

<個人回答ビュー>

自由記入の任意の回答をクリックすると、別ウインドウが開きます。



1-6-2. クリッカーの LIVE画面/REPLAY画面

<相互評価の星の表示機能>

respon では、自由記入問題が1問だけの場合に限り

相互評価機能（星を付ける機能）がオンとなります。つまり、クリッカーの場合は、常にオンとなります。このとき、LIVE画面 / REPLAY画面 の自由記入問題の回答、あるいは個人回答ビューで星の数が表示されます。星はアプリから回答した人が、アプリから付けることができます。

※カード発行時に、“アプリ提出者に LIVEプレイヤー を公開する” を選択する必要があります。（→ **1-1D** (P7) 参照）

<スコア表示機能>

凡例の下の「sum ON」のボタンをクリックするとスコア表示が出ます。

スコアは、（選択肢の数字×人数）の合計と平均点を表示しています。

N/A の人数は平均の母数に含めていません。なお、アプリのプレイヤーにはスコアの表示はありません。

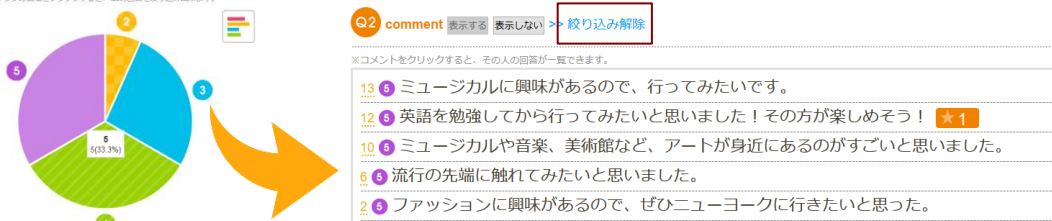


<絞り込み機能>

グラフの各領域をクリックすると、選択肢ごとに自由記入の回答を絞り込んで表示できます。

もう一度同じ領域をクリックするか、「絞り込み解除」をクリックすると、元の表示に戻ります。

※グラフの領域をクリックすると、Q2の回答を絞り込み表示します。



グラフの⑤をクリックすると、
⑤を選んだ人の回答だけを表示します。



LIVE画面 / REPLAY画面は、印刷を想定して設計していません。表示どおりの印刷をしたい場合は、スクリーンショットを使ってください。Windows の場合は 標準で入っている Snipping Tool を使うと便利です。

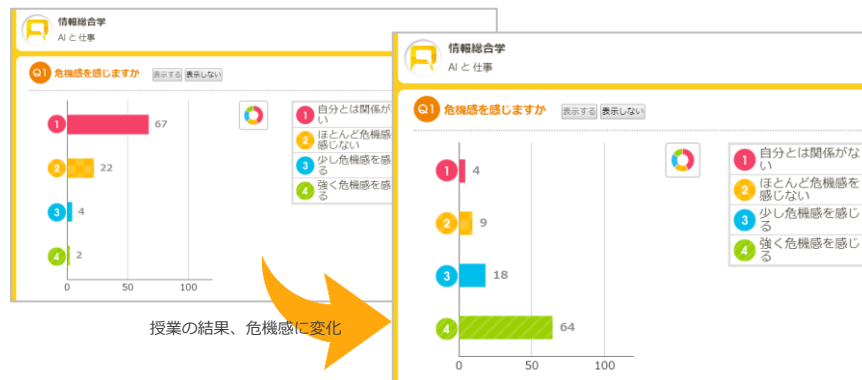
1-7-1. まずは、何か聞いてみましょう

授業スタイルはこれまでと変えずとも、respon をお試しください。
例えばその日の授業のテーマについてどんなイメージがあるか、授業開始時に respon で聞く。または授業の最後に感想を respon で聞く…
1問だけの質問で構いません。まずは何か質問をして、その結果を見てみましょう。
リアルタイムに意見を集めることができることを実感していただければと思います。



1-7-2. 学びの変化の共有

授業のはじめと、授業の最後に同じアンケートを実施して比較します。授業前の意見と、授業後の意見には大きな変化が現れるはず。プロジェクターに投影することで、考えの変化を教室の全員で実感ができます。



事例動画

最新ニュースのトピックを交えたり、動画を活用して、学生のみなさんの「自分の考え」を respon で質問をしている授業の様子をご覧ください。

東洋大学 松原聡 先生：授業を活性化する質問の組み立て方
<https://youtu.be/TPI0i7ZQuVs>

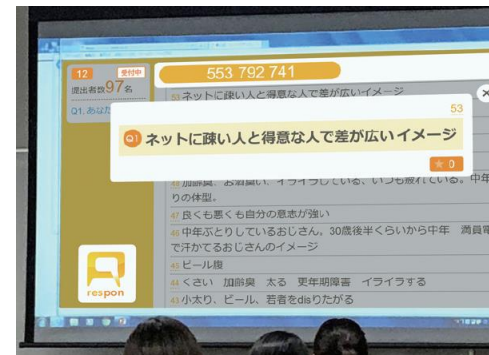


1-7-3. 全員の意見を集める / 意見を紹介する

挙手での発言だけでは、数名の意見を聞く事しかできません。

respon を使ってアンケートに回答することは、教室の全員が「意見を言った」状態となることと同じです。集まった意見を先生はピックアップしたり、さらに掘り下げて説明をしてください。

投稿された意見を「いじる」ことで、学生の授業への参加意欲が高まります。



1-7-4. 共有することの意義

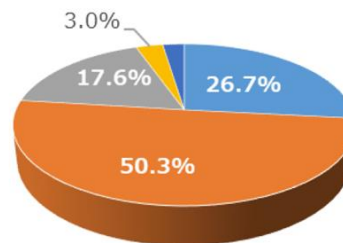
アンケート結果をプロジェクターで見せることは、学生にとって

「自分のポジションの確認」にもなります。

「自分は少数派なのか」「あの意見が多いのか」

「正解者はこんなにいる」「自分と同じ間違いをした人が多い」

など、教室の状況を照らし合わせて気づきや学びが生まれます。



- 講演中に質問することができた点良かった
- 他者のリアクションを感じる・知ることができ参考になった
- 自社のイベント等でも活用してみたい・使えと感じた
- アンケートには不参加

respon を利用した企業セミナーで、参加者に「responの良かった点」を聞いた結果です。一番多い意見は「他の人のリアクションを感じる・知ることができる」ことでした。

TIPS

パワーポイントから、LIVE画面を簡単に開くための手法を紹介しています。ご覧ください。

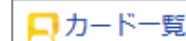
パワーポイントから respon のLIVE画面をスムーズに開く方法

<https://youtu.be/Mwgcj8JoFwA>

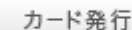


respon を使うことで、短時間に出席カードの回収ができます。この章ではその使い方に絞って解説をします。

manaba にログインし、担当コースのページを開きます。そして [カード一覧] をクリックします。すると、そのコースのカード一覧画面が開きます。タブで「受付中」と、「受付終了」を切り替えることができます。



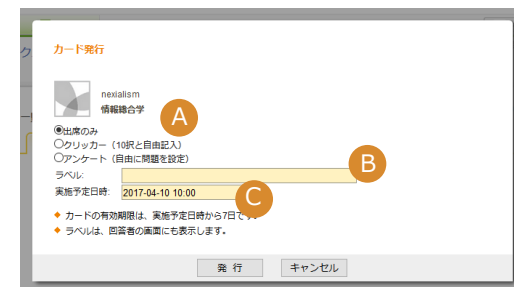
カードの発行 カード一覧画面右上の[カード発行]をクリックすると、パネルが表示されます。



A カードタイプ 3つのタイプから選んでください。ここでは「出席のみ」を選びます。

B ラベル このカードを、後から識別しやすくするために付ける名前です。
 (例：第3回講義 出席確認)
※ラベルは、アプリなど、学生が見る画面にも表示します。

C 実施予定日時 カードを使う予定の日時を入力します。入力した時間ぴったりに利用しなくても、問題ありません。



(A)～(C) を入力して「発行」を押すと準備完了です。



2-2-1. 受付番号の案内

授業では、口頭や板書・スライド等で、受付番号を学生に伝えてください。学生は、アプリかブラウザを利用して提出します。教員は、提出状況をライブで確認できます。カード一覧画面で、そのカードの **[LIVE画面]** (D) をクリックします。



The screenshot shows a card interface with the following elements:

- Card ID: 728 271 195
- Buttons: アンケート, 出席表, 編集, LIVE画面 (D), 受付終了 (E), 再利用, ダウンロード
- Text: 初回授業の感想 [編集], 実施予定: 2017-04-10 10:00, 有効期限: 2017-04-17 10:00
- Attendance Chart: 提出者 22 名. Shows two bars for time slots 04-09 10:55 and 04-16.

2-2-2. カードの受付終了

授業中、あるいは授業後に、カードの受付を終了します。カードの[受付終了] (E) をクリックします。受付終了をすると、そのカードは「受付終了」のカード一覧画面に移動します。

事例

授業が始まる前に、respon で出席確認。その運用の様子をご覧ください。学生のみなさんにもインタビューしています。

respon で楽しく効率的に出席確認 - 実践女子大学
<https://youtu.be/gNkBmTsastI>



カードの受付を終了した後、提出状況を一括して出席表に反映することができます。「受付終了」のカード一覧から、カードを選び、出席表の[編集]をクリックしてください。

履修生の名前が、一覧となって表示されます。

この表は、表示した時点の情報をもとにしています。

A 携帯忘れ・早退などの申告や、点呼で確認した学生の出席情報を選択します。理由も記入してください。

続いて、カードの提出時間を元に、一括判定をします。カードを提出した学生は、提出日時が記載されていますが、まだ学生の出欠情報はなし(=「無」)になっています。日時(**B**)を指定します。**[判定]**(**C**)をクリックすると、ここに指定した日時までに提出している学生を一括で出席(=出)とします。

指定欄にあらかじめ入っている日時は、受付終了したときの時間ですが、任意の時間に変更できます。

一括判定の前に、出席情報・理由を変更している学生は、判定の対象から除外されます。

(例：カードを提出したが、教員が「早遅」とした学生は、一括判定を行っても「早遅」のままです)

編集が終了したら、必ず名簿の下にある**[保存]**(**D**)をクリックしてください。



1 手動編集
点呼や申告などで確認した履修生の出欠情報を、ラジオボタンを押して編集します。理由も記入してください。

2 カード提出者の一括判定
カードの提出時間をもとに、出欠席の判定を行います。判定の対象者は、提出者のうち、これまでに作業をしていない履修生です。

3 出席表を更新
作業を終えたら、画面下の**[保存]**をクリックしてください。**[保存]**せず他の画面に行くと、編集した内容は失われてしまいます。

並び：通常 番号順 提出日時順

氏名	番号	提出日時	出欠	理由
星空 夏美	try20170300		<input type="radio"/> 出 <input type="radio"/> 出扱 <input type="radio"/> 早遅 <input checked="" type="radio"/> 無	
望月 響	try20170301	2017-04-10 10:26:43	<input checked="" type="radio"/> 出 <input type="radio"/> 出扱 <input type="radio"/> 早遅 <input type="radio"/> 無	
湯村 敏恵	try20170302		<input type="radio"/> 出 <input type="radio"/> 出扱 <input type="radio"/> 早遅 <input checked="" type="radio"/> 無	

D **[保存]**

各カードの [ダウンロード] をクリックするとパネルが開きます。
 種類とファイル形式を選択してダウンロードをします。
 クリッカーとアンケートの場合、「回答のみ」か、「回答+その他の情報」の
 いずれかをダウンロードできます。
 アンケートのファイルには、問題文を記載したシートが含まれます。



次ページからの説明は、本マニュアル [2-3.出席表の編集]（→ (P20) 参照）
 の作業を行ったあと（=保存ボタンを押したあと）にダウンロードした
「回答+その他の情報」の Excelシート の説明になります。
「出席のみ」のカードの Excelシート を開く際もこちらをご参照ください。

NEW 複数選択問題があった場合

respon system 7.2 から、アンケートで 複数選択問題 が実施できるようになりました。
 respon の複数選択問題は、タップした順番を保存しています。
 そして、ダウンロードをする際、その順番の情報を入れて出力するか、入れずに出力す
 るかを選択ができます。

- 学生①： A → C → B とタップ
 - 学生②： B → A → C とタップした場合、
- 「順番情報を入れる」とすれば、それぞれ [A,C,B], [B,A,C] と出力します。
 「順番情報を入れない」とすれば、どちらも [A,B,C] と出力します。

また、Excelシートの「問題文」シートには、各選択肢の集計数も出力します。



	A	B	C	D	F	G	H	I	J
1	#name	grade	exam						
2	#course	10979	情報総合学	nexialism					
3	#ident	10996							
4	#session	728271195	2017-04-10	1:初回授業の感想					
5	#saved								
6	#average	10	←平均点						
7	#								
8	#								
9	#								
10	#								
11	#grade								
12	#gradedata								
13	#title	userid	numid	name	grade	comment			
14	#role	# ユーザID	# 学籍番号	# 氏名	# 合計点	# 講評	# 提出日時	# 出欠の判定	# 出席の点数
15	履修生	man01	try20170300	星空 夏美	10		2017-04-10 10:37:25	出席	10
16	履修生	man02	try20170301	望月 響	10		2017-04-10 10:26:10	出席	10
17	履修生	manu01	try20170302	湯村 敏恵	10		2017-04-10 10:26:22	出席	10
18	履修生	manu02	try20170303	黒崎 義彦	10		2017-04-10 10:28:04	出席	10
19	履修生	manu03	try20170304	久保 隆司	10			出席扱い	10携

数	# 理由	# 提出情報	# 提出受付日時	# 集合判定	# 最終編集日時
10				A	2017-04-10 19:21:01
10				A	2017-04-10 19:21:01
10				A	2017-04-10 19:21:01
10				X	2017-04-10 19:21:01
10	携帯電話忘れ				2017-04-10 19:21:01

① 受付番号、実施予定日時、ラベルです。

② 受付終了日時です。

③ 「出席表の編集画面」の②で入力した出欠の判定日時です。

④ 出席の配点です。Excel上で変更可能です。

⑤ 出席と、得点計（後述）の合計点です。

⑥ 「出席表の編集画面」で入力・判定した結果です。

⑦ ⑥の結果に応じて、④の点数が入っています。

⑧ 「出席表の編集画面」で入力した理由です。

⑨ 受付終了後に提出していた場合、ここに「受付終了後提出(NG)」と記載されます。

⑩ ここに日時の記載がある学生は、アプリで提出したとき、通信状況が悪く「仮提出」となり、後から送信をした人です。

⑪ 位置情報をもとに、クラスター分析をした結果です。

A 同じ場所にいた可能性が高い

B 同じ場所にいた可能性がやや高い

空欄 ブラウザで提出をした

F 同じ場所にいなかった可能性が高い

X ・位置情報が送信されなかった

・位置情報が古い、あるいは精度が悪く分析に使えなかった

※端末性能や、端末の使用方法が理由で、教室にいてもFやXの判定となる可能性はゼロではありませんので、判定結果は本人に伝えず、参考情報としてご利用ください。

⑫ 「出席表の編集画面」で情報を最後に編集した日時です。

カードがクリッカーと、アンケートの場合は、ユーザが記入した回答が Excelシート に出力されます。それらの回答に、正解を設定することで、得点計算ができるように計算式も入っています。

判定	# 最終編集日時	14-1		14-2		# スター (DL時)	# ボーナス	# 表示/非表示
		# 得点計	# 回答1.1	# 得点1.1	# 回答1.2			
	2017-04-10 19:21:01	20	1	20	とても良く理解できた。			
	2017-04-10 19:21:01	0	2	0	情報の分類に興味を持てた。	8		
	2017-04-10 19:21:01	20	1	20	統計情報が身近に感じた			
	2017-04-10 19:21:01	10	3	0	ビデオがとても面白かった	2	10	
	2017-04-10 19:21:01							

13 各得点とボーナスの合計点です。#得点計の下の数字は、このカードの受付番号です。

14 [#回答] の列には、各ユーザが選択、記入した回答が入っています。

この回答に対して、採点を行いたい場合は、[正解] のセルに、正解を記入し、その点数を [配点] のセルに記入します。すると、[正解] と同じ回答が記入されている場合に、点数が挿入されます。(図では、“1”を正解として、配点を20点と記入しました。“1”と回答しているユーザの得点に20が挿入されます)

14-1 14-2 問題の数だけこのセットが並びます。

15 ダウンロードした時点での、スターの数です。スターは、プレイヤーを公開した際に、アプリでユーザ同士で付けることができます。
(※自由記入問題が1つの場合のみ)

16 教員の裁量で、個別に点数を記入するための列です。スターを多く獲得した回答に対して、得点を与えるときは、ここに記入してください。

17 アプリのプレイヤーで、教員は、表示するコメントを選択できます。プレイヤーでコメントが非表示になっているユーザは、この列に「非表示」と記載されます。

15 ~ 17 の列は、プレイヤーの状態に関わらず常に表示されます。

履修情報がない学生

履修情報がない学生は、黄色の行で表示されます。

※履修生か否かの情報は、Excelシート をダウンロードした時点の情報をもとにしています。

履修生	r20170300	try20170300	星空 夏美
履修生	r20170301	try20170301	望月 響
履修なし	r20150528	try20170300	朝比奈 徹

「受付終了したカード」の一覧画面にある「総合出席表」をクリックすると、複数のカードの出欠記録の一覧を出力できます。



「この総合出席表は ダウンロード時にチェックマークをつけたカードの出席結果のみが出力されます。

出席表の編集と保存が完了していないと、チェックできませんのでご注意ください。

この表には、選択したカードの入力・判定結果がすべて記載されています。表には非履修生は含まれません。

	A	B	C	D	F	G	H	I	J	K
1	#name	grade								
2	#course	15 総合出席表		nexialism						
3	#session	総合出席表								
4	#saved									
5	#average	38.53 ←平均点								
6	#					全4件	判定	点数		
7	#						出席		10	
8	#						出席扱い		10	
9	#						早退遅刻		5	
10	#title	userid	numid	name	grade	comment				
	role									
	# ロール	# ユーザID	# 学籍番号	# 氏名	# 合計点	# 講評	#1	# 1の出席点	#2	#2の出席点
							728271195	初回授業の感想	789513404	AIの活用は脅威?
							[アンケート] 2017-04-10		[アンケート] 2017-04-17	
12	履修生	r20170300	try20170300	星空 夏美	40		出席	10	出席	10
13	履修生	r20170301	try20170301	望月 響	40		出席	10	出席	10
14	履修生	r20170302	try20170302	湯村 敏恵	40		出席	10	出席扱い	10
15	履修生	r20170304	try20170303	黒崎 義彦	30		出席	10	出席	10

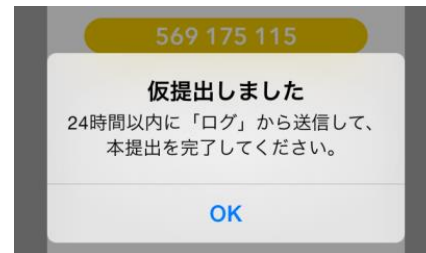
4-1.「仮提出」とは

responアプリは、通信状態が悪い場所であっても記録を保存するという特徴があります。

アプリで提出ボタンを押したときに、通信状況が悪いと、「仮提出しました」と表示される場合があります。

「仮提出」の情報は、教員には到達していません。 時間と場所は記録していますので、後で電波状況が良い場所で必ず提出するよう指導をしてください。

仮提出のカードを送信するには、アプリの「ログ」から送信ボタンをタップします。



4-1.「NG」とは

アプリで提出ボタンを押したときに、

- ・すでにそのカードが受付終了している
- ・すでにそのカードが削除されている
- ・他の端末（ブラウザからなど）で提出した

場合は、NG という表示が出ます。



4-3. 教室の外からの投稿の抑制

集合判定を使わない場合、教室の外からの提出を防ぐにはどうしたらよいか？という質問は、導入初期のタイミングでよく伺います。

中には「携帯電話を預かって代わりに回答すれば不正はできるのでは？」という質問をいただく事もあります。このような不正を抑制するために、respon 導入校のみなさんが工夫している方法は

- ・不正があった場合にはペナルティがある旨を、初回授業で伝えた上で
- ・授業中、複数回 respon を使う

という運用です。この次のページもご覧ください。

集合判定と、その条件

アプリで提出すると、スマートフォンで取得した位置情報を送信し、その情報をもとに、「同じ場所にいたか」の判定を行います。

この判定は、受付終了時に行います。 端末の位置情報サービスをオンにしないと、情報は取得できません。この機能は、具体的な座標（緯度・経度）は誰にも伝えない仕組みですので、不安に思う学生にはお伝えください。（→ **3-1 11** (P22) **もご覧ください**）

集合判定の精度

集合判定は、提出者数が多いほど正確になります。また、位置情報サービスの性能が機種ごとに個体差があるため、場合によっては教室から提出したのにも関わらずF判定（同じ場所にいなかった可能性が高い）になる可能性はゼロではありません。1回の結果だけでなく、複数回の結果を見て、F判定が続く学生に対しては点呼をするなどの指導をしてください。

位置情報サービスの周知の是非

様々なアプリがあるため、個人端末の位置情報サービスをオンにすることにより、他のアプリが位置情報を参照・利用するかもしれません。セキュリティの面でリスクがあるという考え方もあります。そのため、位置情報の機能を案内していない大学もあります。

HINT



さまざまな「出席確認」の不正抑止

① アンケートやクリッカーの回答を紹介する

「出席のみ」のカードの他に、アンケートやクリッカーを併用します。そして、回答をプロジェクターに示し、面白い意見をピックアップして紹介します。時々「これを書いた人は？」と挙手してもらったり、本人に口頭で補足説明をしてもらうことで、教室外からの提出を抑制します。あらかじめ不正があった場合のペナルティを告知しておくことで、大きなけん制となります。

ただし、不正抑止という観点を抜きに、「回答をピックアップ」する授業は、先生・学生のみなさんにとっても授業の内容が豊かになります。respon 利用校の学生のみなさんにお話を伺うと、「自分の意見が授業で紹介されると嬉しい」という声を多く伺います。

② ただちに「受付終了」する

教室の中で、受付番号の案内後にただちにカードの「受付終了」をします。LIVE画面 で提出状況を見るのも良いでしょう。「出席のみ」は短時間で提出できるため、数十秒で受付終了できます。受付終了前に提出できなかった学生には、授業後に口頭で伝えてもらいます。

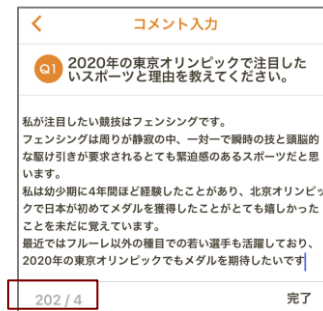
5-1. レポート課題を respon で実施する

responアプリ では、自由記入問題の作成画面では画面のようなエディタが開きます。このエディタでは

- ・ 文字数とワード数の表示をします。
- ・ 下書き保存ができます。

そのため、文字数/ワード数を指定した長文レポートを respon で実施することが可能です。

※responでは、自由記入問題の最大文字数は、2000文字となっています。



5-2. ハイパーリンクを活用する

responアプリ では、**http://** もしくは **https://** ではじまる URL は、ハイパーリンクになります。タップするとブラウザが起動します。この特徴を使うことで、問題文に動画等のURLを記載し、それを見た上での質問を実施することができます。ネット上にある PDF などのファイルの URL を参照するのもよいでしょう。



HINT



アプリのインストール状況の確認

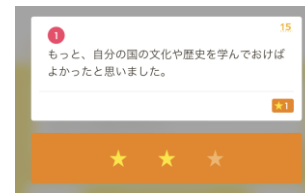
「カード一覧」画面にある「コースメンバー(Excel)」をクリックすると、履修生の情報が XLSX形式 でダウンロードできます。この中には「アプリ登録」というカラムがあり、アプリの設定をしたことがある (※) 履修生は「Y」と表示をされます。相互評価の星の機能など、アプリを使わないとできない機能もありますので、こちらの情報を参考にしてください。 ※…アプリをアンインストールしたのかは、わかりません。

5-3. LIVEプレイヤー での相互評価

アンケートやクリッカーを作成するとき、「LIVEプレイヤーを公開する」を選択すると、アプリの中でプレイヤーを見ることができるようになります。（→ **1-1 D** (P7) 参照）

クリッカー、もしくは自由記入の問題が1つのアンケートでは、アプリのプレイヤーで回答者同士でコメントに星をつけることができます。この星の数は、LIVE画面でも表示されます。（→ **1-6-1** (P13) , **1-6-2** (P15) 参照）

「授業後の振り返りのレポートを respon で行い、提出後に星を付ける」という課題を授業終了後に行うことができます。



【重要】LIVEプレイヤーの公開期間は「受付中」のみです。カードの受付終了時にプレイヤーは自動的に非公開となります。

5-4. REPLAYプレイヤー でのフィードバック

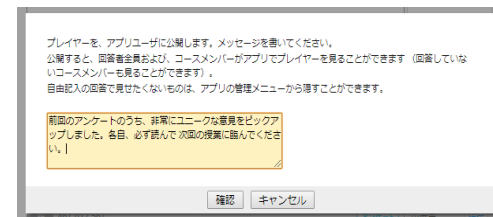
5-4-1. REPLAYプレイヤーの公開

「受付終了」後に、プレイヤーをもう一度公開することができます。受付終了後に公開するプレイヤーを「REPLAYプレイヤー」と呼びます。これの公開は、カード一覧の画面の「受付終了」の画面で [プレイヤー公開] をクリックします。

REPLAYプレイヤー 公開時には、以下のことを追加で行うことができます。

テキストの挿入

REPLAYプレイヤー に挿入されるメッセージです。アンケートの講評や、アドバイスを記載できます。クリッカーには質問文ありませんので、ここに「何の質問だったか」を記載するのもおすすめです。テキストを記入後（記入しなくても構いません）、[確認] ボタンを押すとプレイヤーが公開されます。



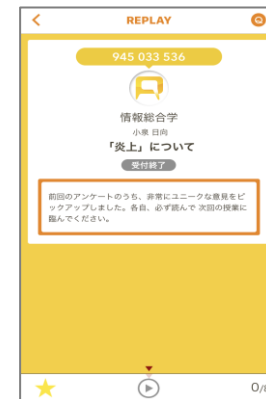
5-4. REPLAYプレイヤーでのフィードバック

5-4-2. REPLAYプレイヤー公開時のアプリの挙動

REPLAYプレイヤーを公開すると、

- 1 アプリのお知らせに通知が追加表示されます。※プッシュ通知ではありません。
- 2 その通知をタップするか、ログで該当のカードをタップすると REPLAYプレイヤーが開きます。
- 3 REPLAYプレイヤー開始時に、挿入したテキストが表示されます。

【重要】お知らせを受け取り、REPLAYプレイヤーを見ることができる人は履修生すべて（そのカードの提出有無問わず）と、そのカードを提出した非履修生になります。



5-4-3. 一部の回答だけをプレイヤーに表示する / 見せたくない回答を非表示にする

プレイヤーに表示する自由記入問題の回答（コメント）を、選択して非表示にすることができます。

※この作業は、教員はアプリで行う必要があります。PC では設定できません。

※この方法は、アプリの「使い方」→サーバの設定をしたとき（教員・講師）→4. カードの「管理」等を参照してください。

※コメントの表示/非表示は、LIVEプレイヤーでも行うことができます



© 2016 電柱棒・respon, Inc.

respon は全国に広がっています！

respon は、株式会社レスポんが開発・運用しています。全国の大学のみならず、学会、会社説明会、社員研修、官公庁のイベントなどさまざまなシーンでご利用が広がっています。「複数選択問題での順番保存」「REPLAYプレイヤーの公開」等といった機能は、レスポんならではのご提案です。新しいものなので、様々な考え・議論があると思います。これらについての皆様のご意見をお寄せください。ご活用現場でのご意見を反映して、respon は進化していきます。

株式会社 レスポん
〒100-0006
東京都千代田区有楽町2-7-1
有楽町イトシア12階



<https://respon.jp/company.html>